

(2019年 福島県公立入試 類似)

- (2026年 和歌山県公立入試 類似)

- 福井県公立入試 類似)

- 宮城県公立入試 類似)

- (2022年 群馬県公立入試 類似)

- (2023年 神奈川県公立入試 類似)

- (2020年 和歌山県公立入試 類似)

- 岐阜県公立入試 類似)

- (2023年 沖縄県公立入試 類似)

- (2024年 山形県公立入試 類似)

- (2023年 青森県公立入試 類似)

-

(2024年 栃木県公立入試 類似)

- いちごドリルプリント

答え合わせ・解説

問1	答え 2 鹿児島県	鹿児島県は、宮崎県とともに南九州の畜産地帯を形成しています。火山灰が堆積してできたシラス台地は水はけが良すぎたため、伝統的に稲作よりも畑作や畜産が行われてきました。現在では、肉用牛（黒毛和牛）、豚（黒豚）、鶏（ブロイラー）の飼育頭数が全国トップクラスであり、農業産出額の約半分を畜産が占めるという際立った特色を持っています。
問2	答え 2 天候や昼夜を問わず、火山活動による地下の熱源から常に安定して発電を続けることができる点	太陽光発電は晴天時や日中に限られ、風力発電は風の強さに左右されますが、地熱発電は地下の熱を利用するため、自然条件の変化を受けにくいという特徴があります。このため、年間を通じて安定した電力を供給できる「ベースロード電源」としての役割が期待されています。
問3	答え 4 火山灰が堆積したシラス台地が広がり、水持ちが悪く稲作に適さなかったため。	南九州には、火山の噴出物による「シラス台地」が広がっています。シラスは水はけが非常に良く、水分を蓄える力（保水力）が低いため、水を張る必要がある稲作には適していませんでした。そのため、広大な土地と温暖な気候を利用して、牛や豚を育てる畜産業や、畑作が発展しました。
問4	答え 4 他の産地の出荷が少ない時期に販売することで、高い価格での取引を狙うため	農産物は市場に出回る量（供給量）が少ない時期ほど、価格が高くなる傾向があります。宮崎県では、冬でも暖かい気候や施設園芸の技術を活用し、多くの地域が栽培できない冬から春にきゅうりを出荷することで、競争を避け、農家の収益を高める工夫をしています。これを促成栽培と呼び、地理的な利点と市場経済の仕組みを組み合わせた農業経営の一環です。
問5	答え 1 杓岐・対馬・五島列島などの離島を多く抱え、本土もリアス海岸のように屈曲に富んでいる。	面積が小さいにもかかわらず海岸線が長いということは、幾何学的に「形が複雑である（凸凹が多い）」、あるいは「孤立した陸地（島）が多数存在する」ことを意味します。長崎県はこの両方の条件を満たしており、特に島嶼（とうしょ）部の多さは海岸線距離を押し上げる最大の要因となっています。一方で、平地は少なく、海岸付近まで山地が迫る複雑な地形が形成されています。
問6	答え 3 地政学	地理的な位置関係が、その国家の政治、経済、軍事的な戦略にどのような影響を与えるかを分析することを地政学と呼びます。沖縄は、東アジアの主要な国々に近接しているという地理的特性から、日本の安全保障上の要衝（重要な地点）として位置づけられています。
問7	答え 4 大分県	大分県は別府温泉や由布院温泉に代表されるように火山活動が活発な地域であり、その熱エネルギーを利用した地熱発電の発電量が国内で最も多いことが特徴です。統計資料に示された高い地熱発電量は、この地理的特性を反映しています。
問8	答え 3 化学工場の排水に含まれたメチル水銀が魚介類の体内で濃縮され、それを摂取した住民に深刻な神経被害をもたらした。	水俣病は、化学工場（チッソ）から八代海（不知火海）へ排出されたメチル水銀（有機水銀）が原因です。この物質が食物連鎖を通じて魚介類の体内に蓄積し、その魚介類を日常的に食べた人間の中枢神経に障害を与えました。カドミウムが原因なのはイタイイタイ病、硫黄酸化物が原因なのは四日市ぜんそくの説明です。
問9	答え 4 宮崎県	宮崎県は、シラス台地などの地形的特性を活かした畑作や畜産業が非常に盛んな県です。農業産出額に占める畜産の割合が全国的に見ても非常に高く、豚や肉用牛、ブロイラーの生産量は日本トップクラスです。選択肢にある他の県と比較すると、岡山県は製造業の規模が大きく、愛媛県は果樹（みかん）、沖縄県は亜熱帯農業といった異なる特徴を持っています。
問10	答え 3 過去の巨大な火山活動による火砕流などの噴出物が堆積した	九州南部に広がるシラス台地は、約3万年前の始良カルデラなどの巨大噴火によって噴出した火山灰や火砕流が厚く積み重なってできた地形です。このように火山噴出物が起源であるため、稲作に必要な栄養分や保水力に乏しいという特徴がありますが、現在はスプリンクラーなどの灌漑施設の整備が進み、大規模な畑作地帯となっています。
問11	答え 4 九州地方は中国・四国地方に比べて人口が多く、農業生産額も大きいですが、工業出荷額は中国・四国地方の方が大きい。	九州地方は人口が約1431万人、農業生産額が約1.9兆円であり、人口約1108万人、農業生産額約0.9兆円の中国・四国地方を上回っています。一方で、工業出荷額に関しては、瀬戸内工業地域などの大規模な重化学工業が発達している中国・四国地方が約36.7兆円となっており、九州地方の約25.7兆円を上回る規模を持っています。地方ごとの産業構造の違いを、人口規模や生産額の具体的な数値から判断することが重要です。
問12	答え 2 東アジアの主要都市から約4時間以内の距離にあるという、地理的な中心性に優れているから	沖縄県は、東京、ソウル、上海、台北、香港、マニラといった東アジアを代表する主要都市から、概ね4時間以内で到達できる範囲内に位置しています。この地理的メリットは、貨物機が各地を往復して荷物を集約・再配分する航空貨物輸送の効率を最大化させるため、国際的な物流拠点として選ばれる最大の要因となっています。